

# 心を開けば、いじめ・不登校を減らすことができる

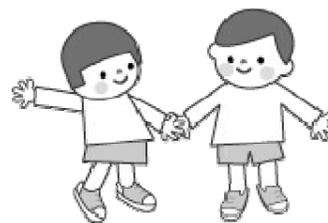
—主体的なあり様(よう)と依存的なあり様(よう)—

講師 深美 隆司 氏

(大阪府 松原市立松原第七中学校教諭 文部科学省研究開発学校研究開発主任)

2010年7月15日(木) 13時~16時

慶應義塾大学三田キャンパス 第一校舎 104教室



年々厳しくなっていく教育の現場。現在、学力の問題と並んで大きな課題となっているのが、いじめ・不登校の問題です。大阪府松原市立松原第七中学校では、2003年度から2009年度までの7年間、文部科学省の研究開発学校の指定を受け、いじめ・不登校を未然防止するための新教科：人間関係学科の開発に取り組んできました。この7年間で、子どもたちの学校に対する満足度は上昇し、悩みやストレスが減少したのです。その結果、子どもどうしのトラブルやいじめが激減するという成果があげられました。そして、行きつくところ、学力の問題もいじめ・不登校の問題も根っこが同じであることがわかってきます。

この講座では、ファシリテーションの中に講義を盛り込み、教員をめざす学生さんたちに「心をひらく」ということを実感していただき、いじめ・不登校は必ず減らすことができるという確信をもってもらえればありがたいと思っています。3時間という少し長いと思われるかもしれませんが、長くは感じません。「自分自身への気づき」を通じて、皆さんにとって貴重な体験となることでしょう。

(参加無料)

## 〈講師プロフィール〉

ふかみ たかし氏。1955年生まれ。大阪府松原市の中学校4校で教員生活を送り、今年で32年目を迎える。人権教育・キャリア教育に長く関わり、2002年からの総合的な学習の時間の実施にあたっては、1996年には現在の職場体験学習の原型をすでにつくりあげ、全国に発信をした。2007年度から2009年度までの3年間、現在の松原第七中学校で文部科学省研究開発学校の研究開発主任として、校区の幼稚園・小学校・中学校をとりまとめ、小中連携にも関わりが深い。松原第七中学校には、全国からの視察や研修への招聘が殺到し、この3年間で全国のべ330学校園・教育委員会等の組織からの学校訪問や研修を依頼されている。

昨年は、日本教育カウンセラー学会で模擬授業を披露。大阪府下だけでなく沖縄、高知、三重、和歌山、奈良、福井、長野などでも出張ファシリテーションを行った。

## 申し込み方法

演習形式で行うため先着50名様でしめ切ります。お申し込みは教職課程センターか各キャンパス学事・教職担当窓口でお受けします。または、下記のメールまでお名前・所属・ご連絡先を明記の上、お申し込みください。

申し込み先 [keio\\_ttc@info.keio.ac.jp](mailto:keio_ttc@info.keio.ac.jp)

## 〈主催・問合せ〉 慶應義塾大学教職課程センター

TEL. 03-5427-1618

### ■住所

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

### ■交通アクセス

- ・JR山手線・JR京浜東北線 田町駅下車、徒歩8分
- ・都営地下鉄浅草線・都営地下鉄三田線 三田駅下車、徒歩7分
- ・都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車、徒歩8分

※東京～田町：約10分

※渋谷～田町：約15分

※車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内を案内いたします。

<http://www.ttc.keio.ac>

